

～ 我が国の食料供給基地 ～

かごしまの農業農村

はいづる 灰鶴地区

国土強靱化

固定堰から可動堰への改修による
防災対応力の向上

ひおき
【日置市】

1

なんさつ 南薩地区

食料安全保障

大規模畑地かんがいを契機とした
営農の近代化

いぶすき みなみきゅうしゅう まくらざき
【指宿市，南九州市，枕崎市】

2

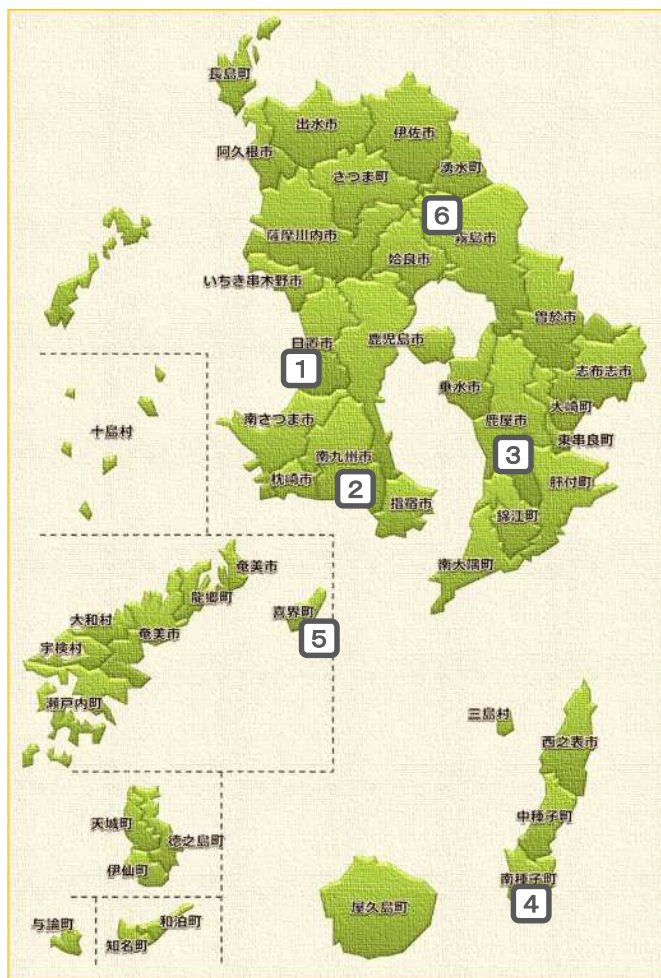
だいさん かさのはら 第三笠野原地区

国土強靱化

食料の安定供給に向けた適切な
ストックマネジメントの実施

かのや
【鹿屋市】

3



令和7年10月
鹿児島県

くきなが 茎永地区

食料安全保障

基盤整備を契機としたスマート
農業導入による省力化

みなみたね
【熊毛郡南種子町】

4

かてうら 嘉手浦地区

食料安全保障

基盤整備を契機とした経営規模
拡大による農業生産量の増加

おおしま きかい
【大島郡喜界町】

5

たかぜ
霧島市竹子地域
農地水環境保全管理協定

地域コミュニティ協議会と連携
した地域の魅力アップ活動

きりしま
【霧島市】

6

固定堰から可動堰への改修による防災対応力の向上

ひおきし
【鹿児島県日置市】

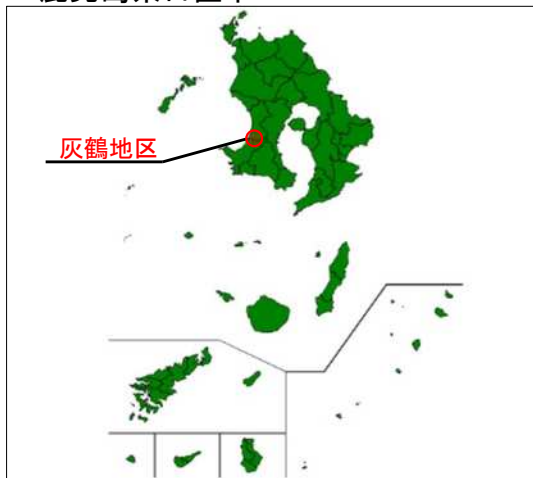
食料安全
保障
スマート
農業
グリーン化
国土
強靱化

【対策のポイント】

- 灰鶴頭首工は柴堰として築造され、昭和18年にコンクリート堰として改築された後、**70年以上が経過**（事業採択時）
- 固定堰のため、洪水時に河川の通水を阻害し、周辺農地や公共施設への湛水や土砂流入等、**甚大な被害が発生**
- **固定堰から可動堰に改修**し、農地や公共施設等の災害の未然防止と、安心・安全な農村環境を確保

【取組地域の概要】

- 位置 ひおきし
鹿児島県日置市



- 主要作物
・水稻
- 主な支援施策
・農村地域防災減災事業（H27～R3）
総事業費 348百万円
（工事雑費・事務費抜き）

豪雨による被害の状況



- 灰鶴頭首工が位置する小野川が平成9年9月の集中豪雨で氾濫
- その後も頭首工は固定堰のまま存置され、洪水氾濫の再来の危機に直面

←【写真1】
灰鶴頭首工位置

↓【写真2】
小野川氾濫状況



【整備前】

コンクリート堰
・堰長：13.8m
・堰高：2.1m

改修整備

（H27年～R3年）

【整備後】

可動堰（鋼製転倒ゲート）
・堰長：17.4m
・堰高：0.9m



↑【写真3】整備前



↑【写真4】整備後

堰の改修による流下能力の向上

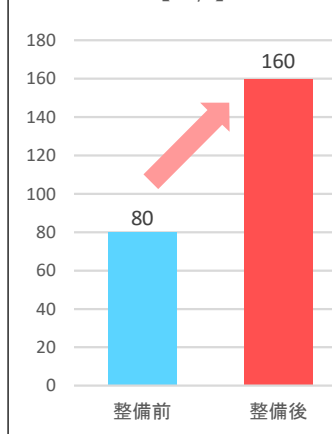
- 灰鶴頭首工の上下流に位置する2箇所の頭首工も、同事業で固定堰から可動堰に改修を行い、**地域（田尻集落）全体の防災対応力の向上が図られた。**

- 令和7年8月の台風12号接近時には、24時間雨量で**平成9年9月を上回る雨量**が観測されたが、当区域での**被害はなかった。**

H9:日雨量 254mm 時間最大 39mm
R7:日雨量 257mm 時間最大 52mm

- 灰鶴頭首工の受益地では、**現在、用水路のパイプライン化工事を実施中。**災害に強い取水施設の整備に合わせて、用水の安定供給に向けた整備を行うことで、**農業経営の更なる安定・向上が期待される。**

河川流下能力（灰鶴頭首工）
【m³/s】



↑【写真5】整備後（下流側から）



↑【写真6】整備後（上流側から）

【工夫のポイント】

- ほ場整備や農業用水の安定的な供給による営農の効率化や高収益作物への転換を実現
- 需要に応じた茶生産の拡大
- 規模拡大や高収益作物転換等による農業産出額の増加

【取組地域の概要】

○ 位置

鹿児島県指宿市・南九州市・枕崎市



○ 主要作物

茶・甘藷・野菜・花類ほか

○ 主な支援施策

- ・ 国営かんがい排水事業 (S45～S59)
- ・ 県営畑地帯総合土地改良事業 (S47～H 6)
- ・ 団体営事業による末端散水施設整備 (S52～S62)
- ・ 県営畑地帯総合整備事業 (H25～R 8)
- ・ 施設管理体制整備事業 (H12～)

基盤

ほ場整備や農業用水の安定的な供給による営農の効率化や高収益作物への転換

- 保水性が乏しい火山灰性土壌地帯で甘藷など限られた作物のみの営農を余儀なくされていたが、ほ場整備や農業用水の安定的な供給により、営農の効率化や高収益作物への転換が実現



基盤
整備
(S45～)



生産現場

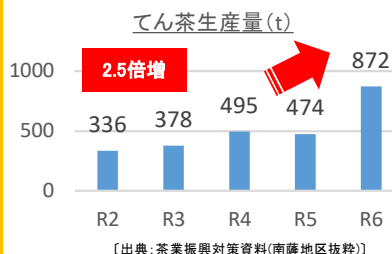
畑地かんがいを使った効率的な水利用やスマート農業技術の導入・実証

- 畑地かんがいやスマート農業技術の導入・実証による労力削減



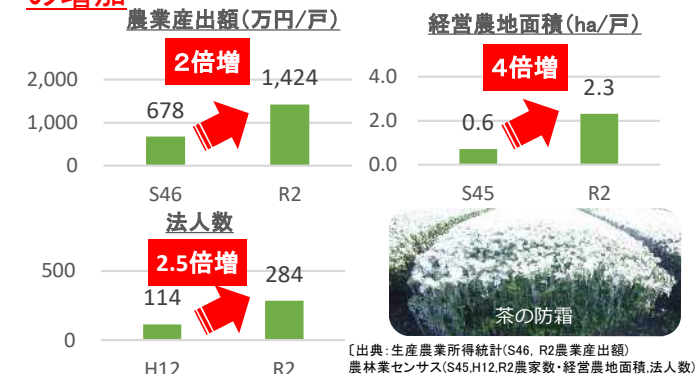
国内外の需要に応じた茶生産の拡大

- 国内外で需要が拡大する抹茶の原料となるてん茶の生産技術向上や栽培面積の拡大

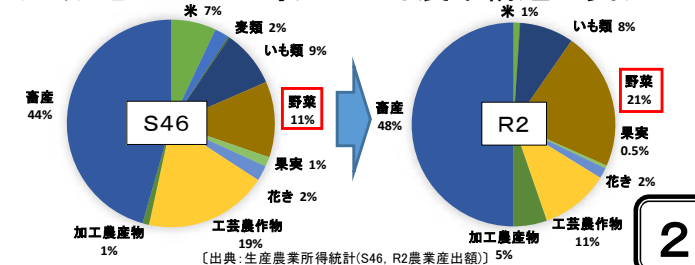


規模拡大や高収益作物転換等による農業産出額の増加

- 農家一戸当たり農業産出額、経営農地面積の増加



- 畑地かんがい導入による農業構造の変化



【取組のポイント】

- 管路敷設から50年以上が経過し漏水が年々増加
- 機能保全計画に基づき、水利施設等保全高度化事業において、緊急性の高い管路・弁等の更新(122km)を実施
- 更新事業実施区域において、笠野原地区全体における漏水件数の割合が大きく減少
- 農業用水の安定供給が図られた

【取組地域の概要】

○位置 かのやし
鹿児島県鹿屋市



- 主要作物
・さつまいも、にんじん、ごぼう、茶
- 主な支援施策
・笠野原土地改良事業(S34～S44)
・国営施設機能保全事業(H25～)

漏水状況



既設弁腐食状況



既設管路延長(笠野原地区全体)
全体管路延長(概数) L=621.6km
国営管 L=14.5km
県営管 L=70.5km
団体営管等 L=536.6km

県営事業更新計画

水利施設等保全高度化事業
(水利施設整備事業)

計画整備延長

122km

更新

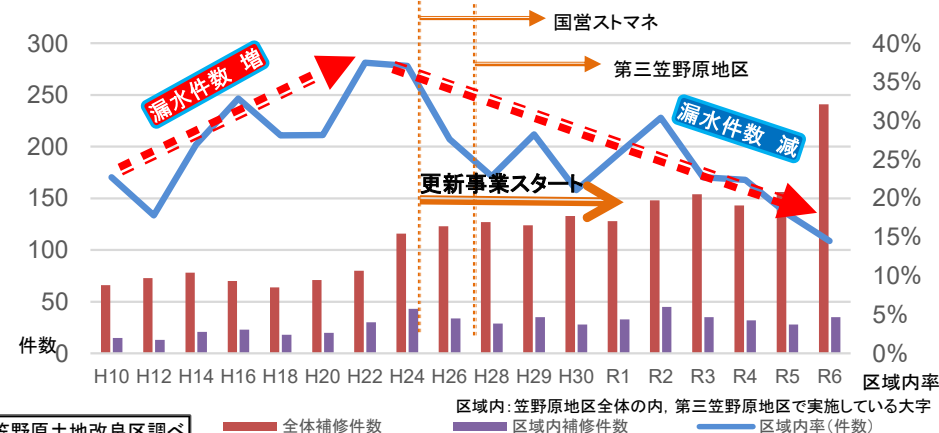
全体延長の
1/10整備済み

整備済延長

73.5km

笠野原地区全体の漏水に伴う補修件数は年々増加しているが、国営ストマネや第三笠野原地区で更新事業を実施している区域では漏水件数が減少。

年度別漏水件数



さつまいも



ごぼう



茶



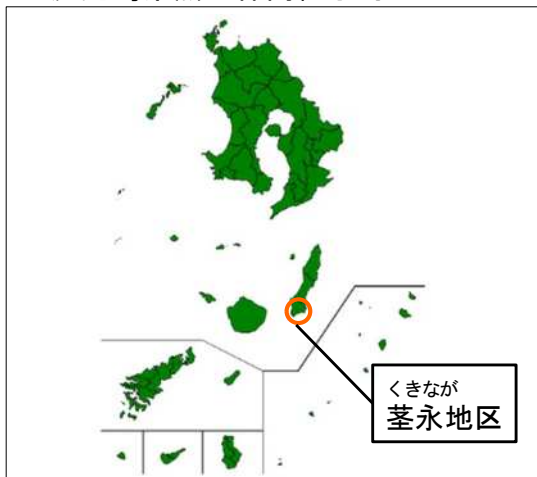
営農状況

【工夫のポイント】

- ほ場整備の実施を契機に、大型機械での作業やドローンを活用した薬剤散布が可能となり、1経営体が法人化し経営を拡大。
- 農機メーカーの基地局を利用したスマート農機導入により、代掻き及び草刈り作業の省力化を図る。

【取組地域の概要】

- 位置 くまげぐんみなみたちねちよう
鹿児島県熊毛郡南種子町



- 主要作物
・主食用米，飼料用稲，かぼちゃ 等
- 主な支援施策
・農業競争力強化農地整備事業
(H30～R11予定)

基盤

区画整理により田の大区画化及び農道の広幅化による大型農業機械の導入

ほ場区画は5a～10aと狭小で、農道が接続していないほ場や、用排水路が土水路であるなど、大型農業機械の導入や農業法人の設立等、新たな営農形態への転換に支障。



基盤整備

(H30年～)

基盤整備により、大型農業機械が導入可能となり、省力化が図られたことで、担い手への集積率向上、法人の設立され、飼料用稲の作付けが増加。



生産現場

生産コストの低減により飼料用稲の拡大

- 一筆あたりのほ場が広くなったことにより、大型農業機械での作業が可能になり、省力化が図られ飼料用稲の面積が拡大。
- 用排水路分離で、農業用水の安定供給と管理作業が省力化されたことから、営農時間が短縮。



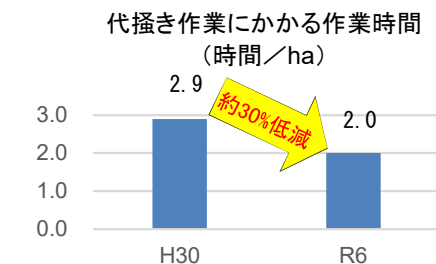
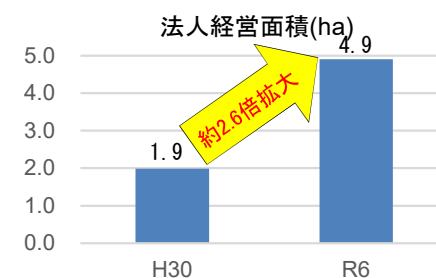
スマート農業導入による省力化

- 担い手の法人化により、経営規模の拡大。所有する、薬剤散布用ドローンにより、営農作業の省力化を進めている。
- また、農機メーカーの基地局が設置されたことから、大型農業機械にGPSアンテナを購入。代掻きや草刈りなどの作業については直進アシスト機能により作業時間及び労力の軽減を図っている。



法人における経営面積の拡大と作業時間の軽減

- ほ場の拡大、農道の広幅、スマート農業展開などにより、事業開始した平成30年度から、経営面積が約2.6倍に拡大。作業時間は約30%低減。



※法人聞き取りによる

基盤整備を契機とした経営規模拡大による農業生産量の増加

きかいちょう
【鹿児島県大島郡喜界町】

省力化・
スマ農
国土強靱化
保安全管理
グリーン

【工夫のポイント】

- 国営・県営事業で基盤整備を実施し、**効率的かつ安定的な農業経営の実現。**
- 計画的に更新事業を導入する等、**戦略的な保安全管理**を推進。
- **集落で話し合い**を実施し、集落内の担い手農家への**農地集積を促進。**
- 担い手農家への農地集積・集約が進んだ結果、**さとうきびの生産量が約4倍に増加。**

基盤

農業基盤整備による効率的かつ安定的な農業経営の実現

- 国営事業を活用して、**地下ダム**のほか揚水機場(4箇所)、ファームpond(6箇所)など**基幹的農業水利施設を整備。**
- 県営事業を活用して、**区画整理及び畑地かんがい施設整備**(298.3ha)のほか**農道整備**(7,660m)を実施。
- 事業完了後は**畑かん施設を活用して徹底した水管理**を行うことで**効率的かつ安定的な農業経営の実現。**



基盤整備
(H4～H18)

【整備前】

農業基盤整備の遅れや農家人口の減少・高齢化などが重なり、農業生産性は極めて低い状況。



【取組地域の概要】

- 位置
おおしまぐんきかいちょう
鹿児島県大島郡喜界町



- 主要作物
・さとうきび、かぼちゃ、ごま 等
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(H4～H15)
・畑地帯総合整備事業(担い手育成型)(H8～H18)
・畑地帯総合整備事業(担い手支援型、施設整備)(R5～R11)

施設管理

将来を見据えた長寿命化対策

- 畑地かんがい整備から一定期間が経過したことにより、施設の劣化・損傷が発生していたため、令和5年度から**畑かん施設の更新事業を実施。**
- 施設の長寿命化のため、**定期的な機能診断に基づく補修工事や水土里サークル活動(多面的機能支払交付金)**による農道や水路の適切な管理等、**戦略的な保安全管理**を推進。



地域の取組

地域農業の持続的な発展に向けた話し合い

- 農家の高齢化に伴い離農が増加する中、**今後の農地の在り方について集落で話し合い**を実施し、**集落内の担い手農家へ集積を推進**していくことで合意。

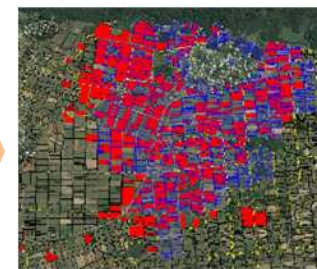
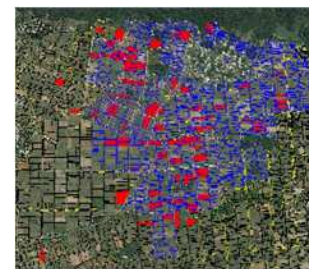


経営規模拡大による農地集積率の増加

- **農業経営規模が拡大し、その結果、担い手農家への農地集積率が大幅に増加。**

H25: 25.8%

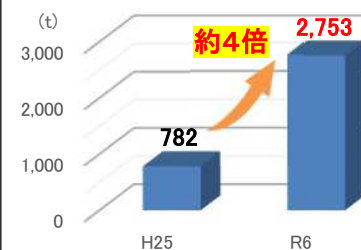
→ R6: 66.6%



農業生産量の増加

- 担い手農家への農地集積・集約が進んだ結果、**さとうきびの生産量が約4倍に増加。**

【担い手農家のさとうきび生産量】



『多面的機能支払交付金』

地域コミュニティ協議会と連携した地域の魅力アップ活動

きりしま みぞべちようたかぜ

【鹿児島県霧島市溝辺町竹子地区】

省力化

スマ農

国土
強靱化

水土里
サークル

【取組地域の概要】

- 位置 きりしま し みぞべちようたかぜ
鹿児島県霧島市溝辺町竹子地区



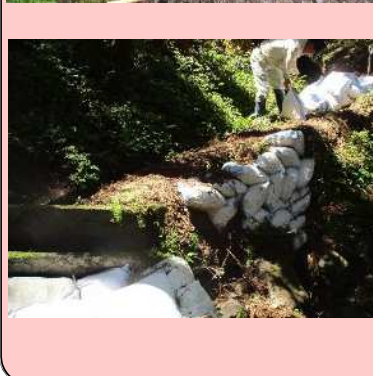
概要・取組

- 竹子地区は、霧島市北西の鹿児島空港近くに位置し、人口783名（R7.4現在）の中山間地の1集落で、水稻、茶、果樹（梨、ぶどう）、施設園芸（花卉）、飼料作物を中心とした農業が営まれ、**多彩な史跡、歴史文化、地域行事を通じて助け合い・支え合いの連携が図られた地域である。**
- 水土里サークル活動は、**農業者・非農業者630名の構成員**があり、**主に農業施設の点検補修や農道・水路の草刈り、景観保全等の活動**に取り組んでいる。
- 地域には、**『竹子っ好調会』というコミュニティ協議会**があり、地域外住民との交流活動も活発で、秋に竹子っ好調会が主催する「ふるさとウォーク」には、田園風景を楽しみに、毎年約150名の参加がある。
- 水土里サークル活動は、『竹子っ好調会』と連携し、「ふるさとウォーク」のコース沿線の**農地にそばを播種**し、そばの花が参加者をもてなしている。また、ファームポンドを通るコースでは、**土地改良施設の紹介**も行い、竹子っ好調会が目指す**地域の魅力アップ**に寄与している。

各施設の草刈り作業



大雨で被災した水路の補修



竹子っ好調会



ふるさとウォーク



基盤整備等の履歴

- 県営畑地帯総合整備事業 竹子原地区
工 期: S56～H11
工 種: 畑地かんがい 112ha
区画整理 112ha
農地保全 81ha

○多面的機能支払交付金

- 組織名: 霧島市竹子地域
農地・水・環境保全管理協定
認定面積: 21.5ha(田10.2ha, 畑11.3ha)
採択年度: H19 (広域化: H24)
活動開始/終了: R4～R8
活動内容: 農地維持, 共同, 長寿命化
構成員 630名
(農業者: 283名 非農業者: 347名)